

商品名：YCO2M ベッド
型式：YBD001-2RG

はじめに

このたびは、介護保険レンタル対応 在宅介護用電動ベッド「YCO2M ベッド」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、在宅介護や療養生活を安全かつ快適にサポートするために開発された介護用途向けベッドです。

ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前のお願い

- この取扱説明書は、いつでも見られる状態にしておいてください。
- ベッドで療養される方だけでなく、操作を行う介助者の方も必ずお読みください。
- 改良などにより、本取扱説明書の内容が一部変更される場合があります。
- ご不明な点がありましたら、弊社または販売店までお問い合わせください。

目次

はじめに	1
ご使用前のお願い	1
目次	2
使用目的と特徴	3
安全上の注意	4
各部の名称	7
操作方法	8
定期点検とお手入れ	9
停電・故障時の対応	10
設置・移動・保管	11
仕様	12
サイドレール、介助バーの組み合わせ	13
適合マットレスのサイズ	13
梱包内容	14
組立方法	16
故障について	26
保管について	26

使用目的と特徴

本ベッドは、利用者の動作支援および介護者の負担軽減を目的としています。

主な特徴



- 背上げ機構による起き上がり・食事・読書などの支援



- 背脚連動機能による背上げ時の体のずれ防止



- ベッド全体の高さ調節による、立ち上がりや介護者の負担軽減

- ヘッドボード・フットボードの着脱構造によりシーツ交換や、体の清拭の容易化
- 停電時、別電源(電池)によって降下可能な設計

安全上の注意

本製品を安全にご使用いただくため、必ず本章をお読みください。
以下の注意事項は、ご利用者および介助者の事故防止を目的としています。

1. 注意表示について

本書では、次の図記号で安全に関する事項を示します。

区分	アイコン	意味
禁止	⊘	重大事故や生命に関わる危険が発生する可能性がある項目
警告・注意	⚠	怪我・事故・物損の可能性がある項目

2. ご使用前に必ず確認すること

⚠ ピン・ボルトの固定確認

- ・使用前にベッド構造部の固定具（ピン、ボルト）が確実に締まっているか確認してください。
- ・緩みがあると破損や事故につながります。

⚠ 周囲の安全スペースの確保

- ・ベッド周囲に十分なスペースを確保してください。
- ・昇降時に壁・家具・コンセントと接触しないよう、10cm以上離してください。

⊘ 水分による危険

- ・濡れた手で電源プラグやスイッチを操作しないでください。
- ・水や尿が電装部にかかった場合は直ちに電源を抜き、弊社へご連絡ください。

⚠ 最大使用者体重・耐荷重

- ・本ベッドの最大使用者体重：135kg
- ・利用者・マットレス・付属品の総重量が耐荷重を超えないようにしてください。

⚠ 医師相談が必要な場合

- ・以下に該当する方がご使用になる場合は、必ず医師または看護師にご相談ください。
 - 呼吸器疾患のある方
 - 姿勢保持が困難な方
 - てんかん発作の既往がある方
 - ペースメーカー等の医療機器を使用している方

3. 使用中に特に注意すること

⊘ 可動部への接触禁止

- ・ベッド背・脚ボトムの動作中は、可動部の下に手・足・体を入れないでください。
- ・挟まれ事故の原因になります。

⚠ サイドレール・介助バーの隙間

- ・体の一部が隙間に入り込まないように、適合品を正しく取り付けてください。
- ・不適合品の使用は禁止です。
- ・ベッドボトム（背・脚）とフレームのすき間に、手足・衣類・寝具を入れないでください。

⚠ 付属品の取り扱い

- ・サイドレールや介助バーは、確実に固定されていることを毎回確認してください。
- ・取り付けが不完全な場合、すき間事故や転落の原因となります。
- ・サイドレールの端に荷重をかけないでください。傾きによる転倒の恐れがあります。

⚠ 姿勢保持が困難な方の操作

- ・背上げ時に利用者が身体を保持できない場合は、必ず介助者が付き添ってください。
- ・ベッド操作中は利用者から目を離さないでください。姿勢が崩れたり、ずり落ちる恐れがあります。

△ 異常時の使用中止

- ・以下のような異常が発生した場合は、直ちに使用中止し電源プラグを抜いてください。
 - 焦げ臭い匂いがする
 - 通常と異なる大きな音や振動がする
 - 動作が途中で止まる、または勝手に止まる
 - 電源コードやスイッチが異常に熱い
- ・その後、必ず弊社に点検を依頼してください。

⊖ 製品の分解・修理・改造

- ・異常動作や仕様と異なる隙間ができ、重大な事故に繋がる可能性があります。

4. ベッド周辺の使用環境に関する注意

⊖ 火気・高熱器具の近くで使用しない

- ・ストーブや加湿器の吹出口付近、直射日光の強い環境では使用しないでください。
- ・変形・変色・火災の原因になります。

△ 電源・配線の取り扱い

- ・コードを引っ張ったり、物を乗せたりしないでください。
- ・たこ足配線は禁止です。必ず定格内のコンセントを単独で使用してください。

△ ベッド周辺の安全確認

- ・操作前に、周囲に人やペットがいないことを確認してください。

△ ベッド下への物の放置禁止

- ・ベッド下に物を置かないでください。
- ・昇降時に物が挟まり、破損や事故の原因となります。

△ 衣服・寝具の巻き込み

- ・背上げ・脚上げ・昇降動作の前に、衣類のすそ・紐・ベルト・寝具などが可動部に触れていないことを必ず確認してください。
- ・衣類が可動部に引っかかると、思わぬ事故や怪我の原因となります。
- ・特にパジャマの紐、長い衣類、タオル類は巻き込みやすいため注意してください。

5. 事故を防ぐための利用上の注意点

△ 介助者が離れる場合

- ・介助者が一時的にその場を離れる場合、また利用者から目を離す場合は、ベッドのボトムを水平にし、高さを最も低い位置にしてください。

△ 小さなお子様のいる環境

- ・小さなお子様など、本取扱説明書の内容を理解できない方を一人ではベッドに近づけないでください。
- ・ベッドに登ったり、ベッドの下にもぐったり、手元スイッチを操作しないよう注意してください。
- ・使用しないときは電源プラグを抜いてください。

⊖ 乗り降りについて

- ・ベッドへは左右側面から乗り降りしてください。
- ・サイドレールやボードをまたいで乗り降りしないでください。
- ・転倒事故の原因となります。
- ・ベッドの床高を調整しベッドから異動する場合、利用者の足が床にしっかりとつく状態で離床してください。足が床に届かないと転倒に繋がる危険があります。

△ マットレスの適合・固定

- ・必ず適合サイズのマットレスを使用してください。
- ・小さすぎるマットレスや、厚みの極端に薄いものは危険な隙間の原因となります。
- ・付属のストッパーなどでマットレスを固定し、ずれがないことを確認してください。

❶ 本ベッドは1名の使用者を対象とした設計です。

- ・複数名での同時使用（利用者＋介助者など）はしないでください。
 - ・介助者がベッドの上に乗ったり、体重を大きくかけたりしないでください。
 - ・定格を超える荷重は、破損や転倒、重大事故の原因となります。
-

6. ベッド移動時の注意

△ ベッド移動時の注意

- ・ベッドを移動する際は、必ず4人以上で行ってください。
 - ・移動前にヘッドボード・フットボード・サイドレール・マットレスを取り外してください。
 - ・人が乗ったままベッドを移動しないでください。
-

7. 清掃・メンテナンス時の注意

△ 清掃・メンテナンス

- ・清掃やメンテナンスの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・水や洗剤を直接電装部にかけないでください。
- ・ロボット掃除機がベッド下に入り込み、配線を巻き込む恐れがあります。
- ・本体に貼ってあるシールは剥がさないでください。シールが破損・退色した場合は、弊社に交換を依頼してください。

8. 停電時の注意点

△ 停電時および復旧時の注意

- ・停電時は電動操作ができません。
 - ・非常用電池（別売または付属）により、背・脚・高さの「下降のみ」が可能です。
 - ・電池は必ず乾いた手で取り付けてください。
 - ・電源復旧後、モーター保護が働いてすぐに動作しない場合がありますが、その際はしばらく時間をおいてから再度操作してください。
 - ・異常が解消しない場合は弊社にお問い合わせください。
-

9. その他注意点

△ モーター保護機能について

- ・連続運転後や停電復旧後は、安全のためモーターが一時的に動作を停止することがあります。
- ・数分待ってから再操作してください。

△ 設置環境について

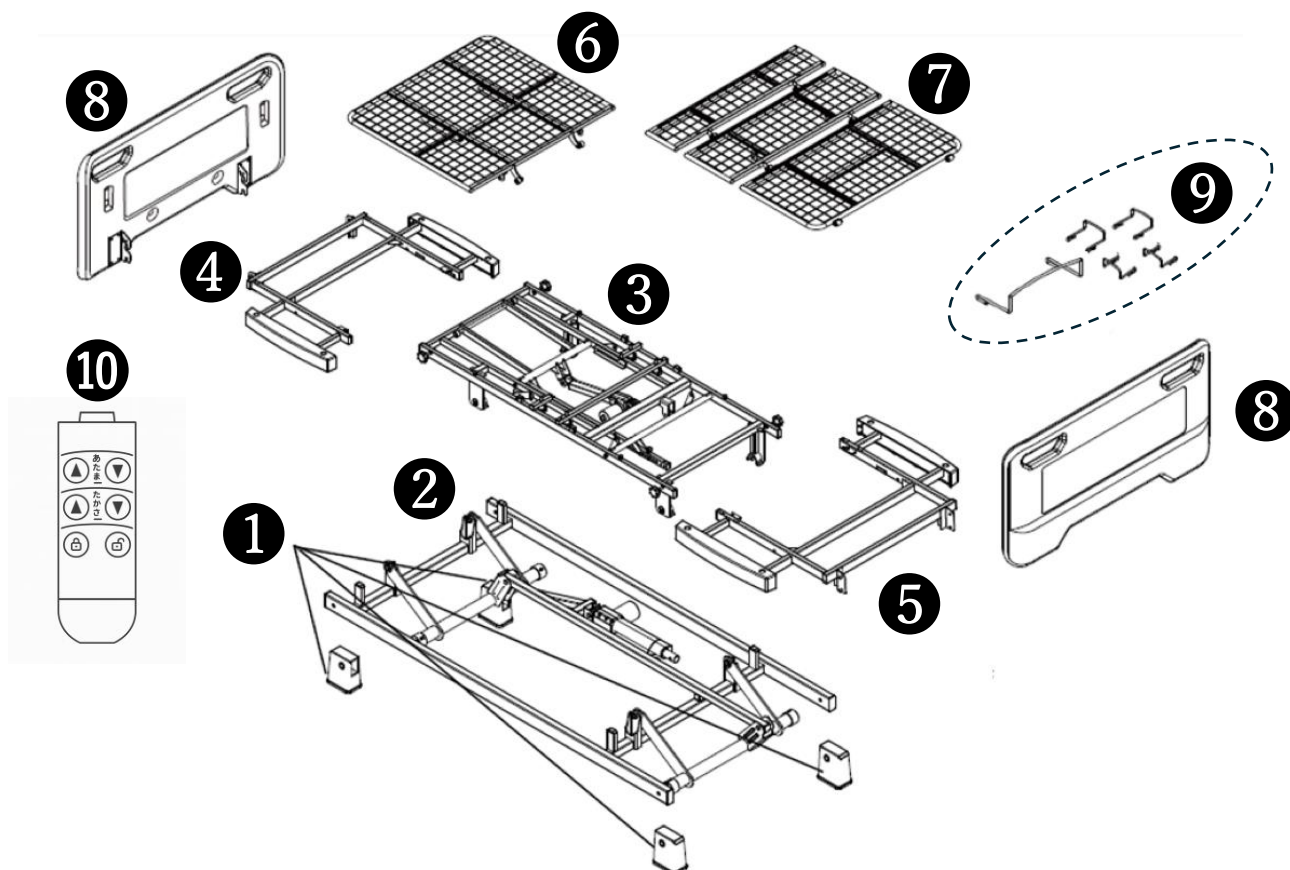
- ・ベッドは必ず水平で硬い床に設置してください。
- ・傾斜や畳の沈み込みは誤作動や転倒の原因になります。

△ 手元スイッチ操作について

- ・複数のボタンを同時に押さないでください。
- ・長押しや連打は故障・誤作動の原因になります。
- ・手元スイッチは利用者が誤操作しないよう、枕元や体の下に置かないでください。

各部の名称

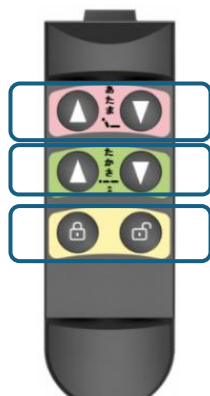
①脚座	②ベースフレーム	③センターフレーム
④ヘッドフレーム	⑤フットフレーム	⑥ヘッドボトム
⑦フットボトム	⑧ヘッドボード、フットボード	⑨マットレス止め
⑩手元スイッチ		



操作方法

(1) 手元スイッチ操作

- 各ボタンは **1つずつ** 押ししてください。
- 「背上げ」「高さ」「操作制御」ボタンを搭載。
- 「背上げ」「高さ」ボタンは押している間だけ動作します。
- 「動作制御」ボタンは施錠ボタン長押しで操作無効化し、解除ボタン長押しで無効化を解除します。



【背上げボタン】

背ボトム角度、ひざボトム角度を同時に調整できます。
上ボタン(▲)を押している間に上昇し、下ボタン(▼)を押している間に下降します。

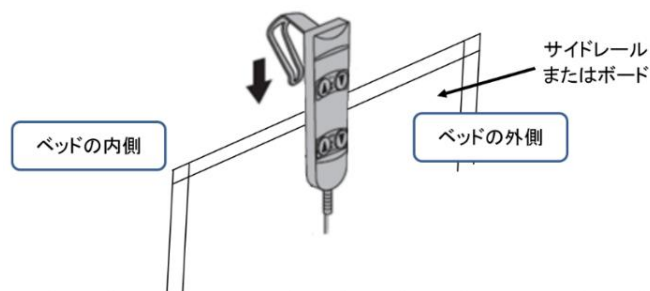
【高さボタン】

床面高さを 25cm~58cm まで無段階で調節できます。
上ボタン(▲)を押している間に上昇し、下ボタン(▼)を押している間に下降します。

【動作制御ボタン】

背上げ・高さの操作を無効にできます。
ロックボタン(🔒)を長押しで操作無効化し、解除ボタン(🔓)を長押しで無効化を解除します。
※ロック、及び解除はピーという音が鳴るまでボタンを長押ししてください。

- ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は、電源プラグを抜いてください。誤操作による事故の恐れがあります。
- 操作は必ずベッドに寝た状態で行ってください。ベッドに立った状態や座った状態での操作は怪我をする恐れがあり危険です。
- 2つ以上のボタンを同時に押さないでください。手元スイッチやモーターの故障の原因になります。
- 手元スイッチを使用しないときは、サイドレールまたはボードの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、怪我をする恐れがあります。



- ベッド内側に手元スイッチを掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手が挟まれて怪我をしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。
- 手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶついたり、傷ついたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
 - ・傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼してください。



必ず守る

定期点検とお手入れ

月1回の自主点検を推奨。

- 点検・清掃の前には必ず電源プラグを抜いてください。誤動作により挟み込み事故の恐れがあります。
- 各可動部の緩み、破損の有無を確認してください。
- 各可動部の動作に異常や異音がないか確認してください。
- 手元スイッチや電源コード、プラグに損傷がないか点検してください。
- 異常があった場合や、より詳細の点検を希望される場合は弊社までご連絡ください。

お手入れ方法

- 水で薄めた中性洗剤を布に含ませ、固く絞って拭いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール系溶剤は変質や変色、故障の原因となるため使用しないでください。
- 消毒は消毒用エタノール、塩化ベンザルコニウム、グルコン酸クロルヘキシジンなどをお使いください。
- 水洗い・高温滅菌・オゾン殺菌はしないでください。

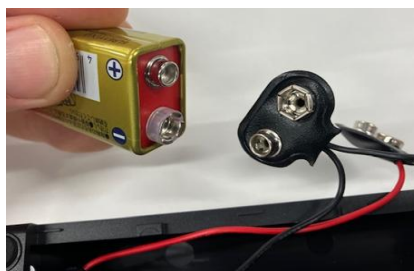
停電・故障時の対応

- ・変圧器裏面に乾電池を取り付けることで、万が一の停電時にも手元スイッチのボタン操作で、背ボトム・脚ボトム・床面高さを下げることができます(上げることはできません)。
- ・市販の 9V 乾電池を 2 個ご購入のうえ、下図のように取り付けてください。

●電池取付け方法



①変圧器裏面の電池ボックスカバーをはずしてください。



②乾電池 2 個をコネクタに取り付けます。



③乾電池を電池ボックスに取め、カバーを閉めてください。

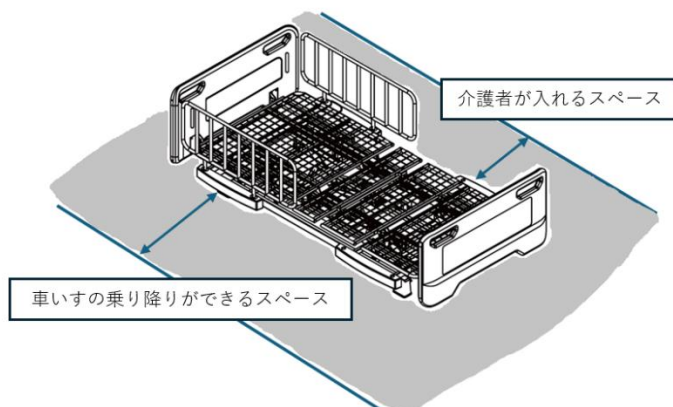
△電池取り付け時の注意点

- 濡れた手で電池の取り付けを行わないでください。
- 故障、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- 電池は取り付けただまにすると操作していなくても自然消耗しますので、本機能使用時に取り付けてください。

設置・移動・保管

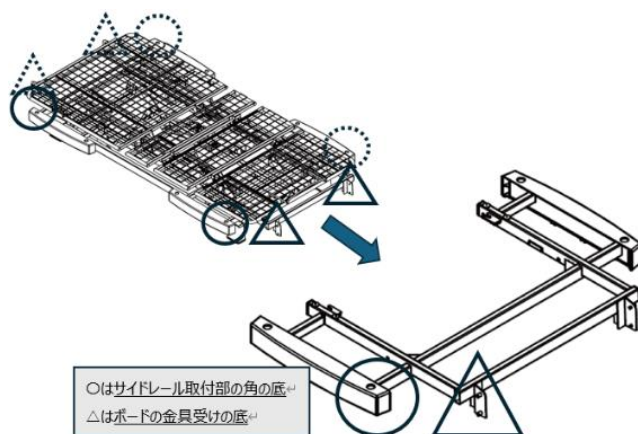
(1)設置

- ベッドは必ず丈夫で水平な室内の床に設置してください。
- 屋外・浴室では使用できません。
- ベッドの故障や変形・変色、怪我や火災を起こさないよう、下記をお守りください。
- エアコンやストーブ、火気のある機器の近くにベッドを設置しないでください。
- 電源コードのたこ足配線は行わず、コンセント(100V-240V)に直接接続してください。
- 手元スイッチや電源のコードがベッドに挟まれたり引っ張られる位置に来ないように注意してください。
- ベッドの周囲は広いスペースを確保し、下図を参考に設置してください。



(2)移動

- 移動の前に電源コードを抜き、サイドレールやボード、マットレスをベッドから外してください。
- 移動の際は、下図で指示された箇所を持ち、他の部分は持たないでください。
- 予期せぬ事故、怪我につながる恐れがあります。
- ベッドの移動は必ず4人以上で行なってください。



(3)保管

- 保管時は電源プラグを抜き、直射日光、高温・多湿を避けて保管してください。

仕様

型式：YCO2M ベッド
商品名：YBD001-2RG

【商品質量】

1/5 ベースフレーム：19kg
2/5 センターフレーム：25.8kg
3/5 ヘッドフレーム×1 フットフレーム×1：17kg
4/5 ヘッドボトム×1 フットボトム×1：15kg
5/5 ヘッドボード×1 フットボード×1：9.3kg
合計：86kg

【梱包質量】

1/5 ベースフレーム：23.5kg
2/5 センターフレーム：27kg
3/5 ヘッドフレーム×1 フットフレーム×1：20.7kg
4/5 ヘッドボトム×1 フットボトム×1：18.3kg
5/5 ヘッドボード×1 フットボード×1：11.5kg
合計：101kg

主な材質：スチール、樹脂、ポリエチレン樹脂

電動機能：モーター数2 無段階自在式

背上げ角度：0°～70° / ひざ上げ角度：0°～18°

昇降（床面高さ）：25cm～58cm

定格電圧：AC100V 50/60Hz

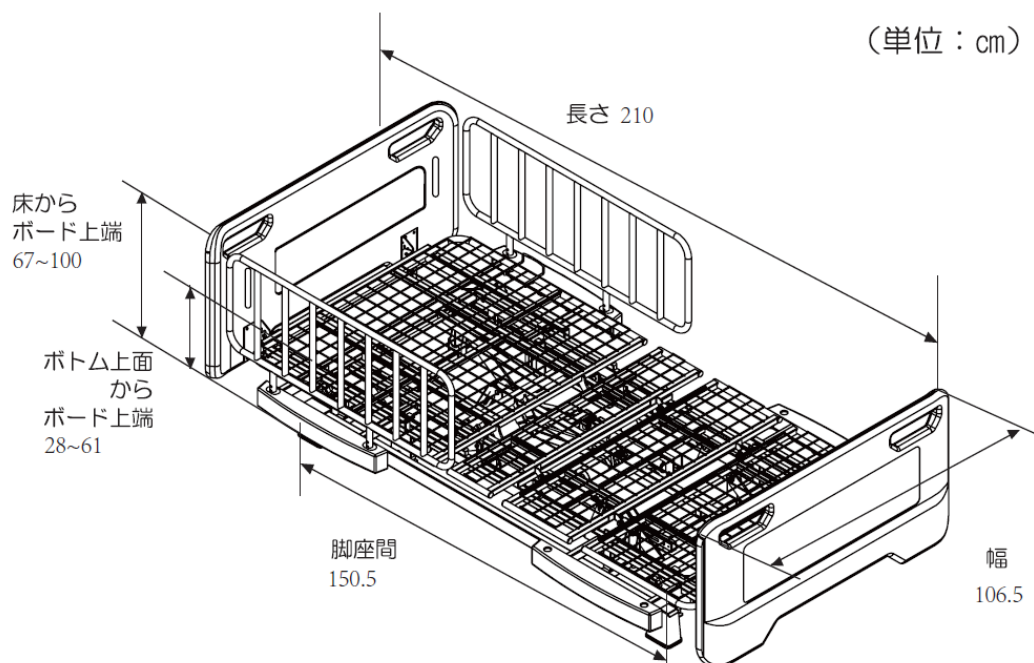
消費電力（無負荷）背上げ：約35W以下 / 脚上げ：約35W以下

背脚連動：約60W以下 / 昇降上げ：約60W以下

安全使用荷重：1700N（約174kg）（最大使用者体重135Kg）

生産国：中国

【ベッド寸法】



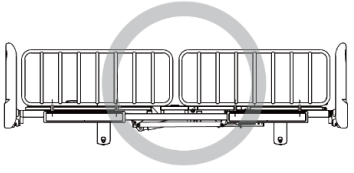
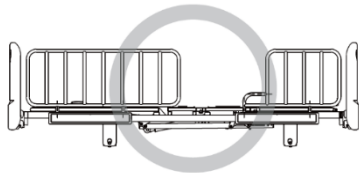
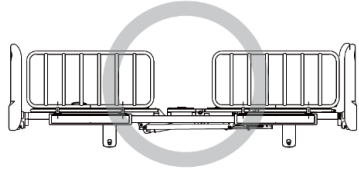
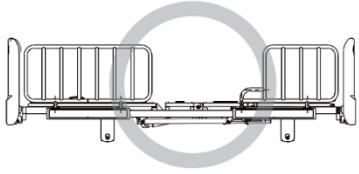
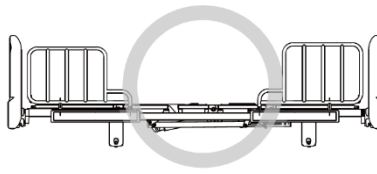
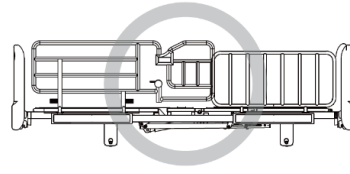

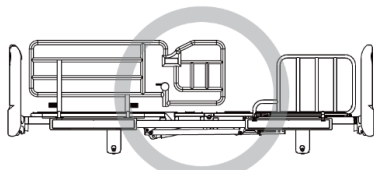
サイドレール、介助バーの組み合わせ

■サイドレールを使用する際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。


誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

■サイドレールの組み合わせは頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

ロング+ロング	ロング+ショート	レギュラー+レギュラー
		
レギュラー+ショート	ショート+ショート	介助バー+レギュラー
		
介助バー+ショート	 組み合わせるサイドレールや介助バーは必ず当社指定の商品をご使用ください。不適合の商品を取り付けると危険な隙間や干渉が発生し、事故の原因となります。 警告	
		

適合マットレスのサイズ

サイズ	幅 88~91cm × 長さ 190~195cm
厚さ	最大厚 15cm 以下、最小厚 7cm 以上
質量	19kg 以下

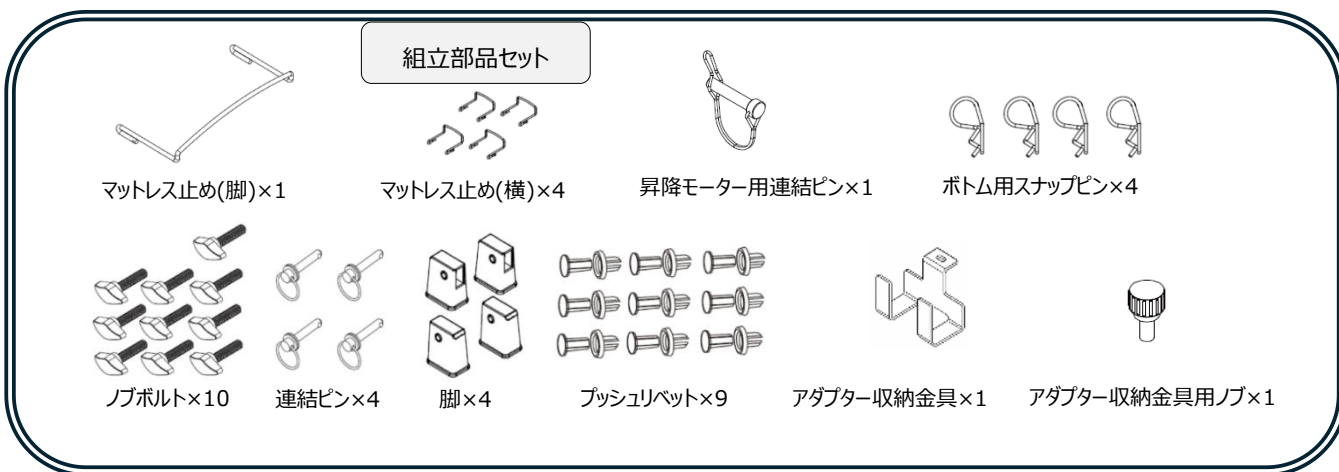
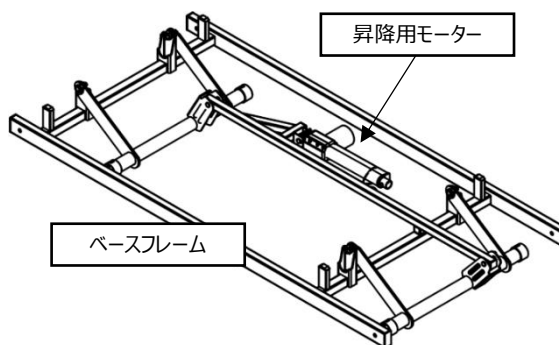
 警告	適合しないマットレスの使用は事故や怪我の原因となります。 マットレスの選定は弊社担当者へご確認ください。
--	---

梱包内容

●商品の開梱時に以下の部品が揃っており、破損や異常がないことを確認してください。
欠損や破損、異常があった際には弊社までご連絡ください。

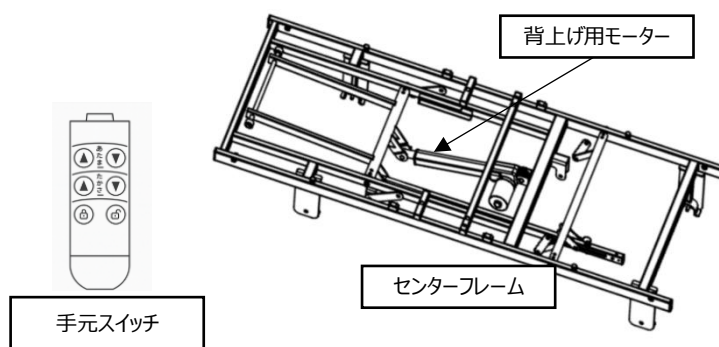
■1/5 ベースフレーム

【梱包内容】
 ・ベースフレーム×1
 ・昇降用モーター×1
 ・組立部品セット×1



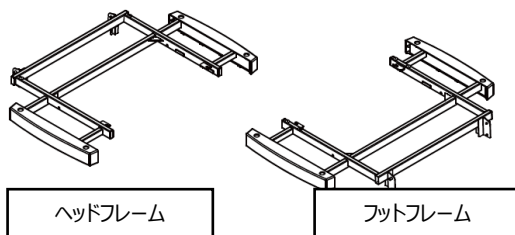
■2/5 センターフレーム

【梱包内容】
 ・センターフレーム×1
 ・背上げ用モーター×1
 ・手元スイッチ×1
 ・ACアダプタ×1
 ・コントロールボックス×1
 ・電源コード×1



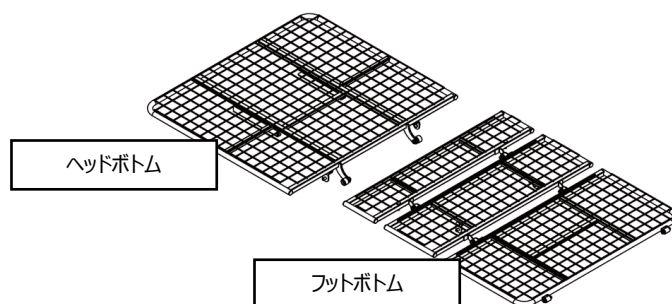
■3/5 アクセサリフレームセット

- 【梱包内容】
・ヘッドフレーム×1
・フットフレーム×1



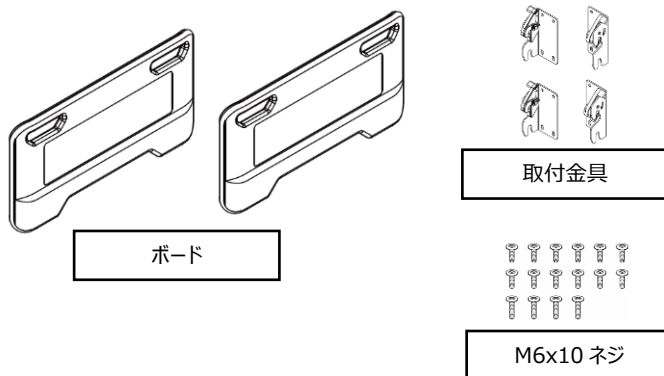
■4/5 ボトムセット

- 【梱包内容】
・ヘッドボトム×1
・フットボトム×1



■5/5 ボードセット

- 【梱包内容】
・ボード×2
・取付金具(右)×2
・取付金具(左)×2
・M6x10 ネジ×18



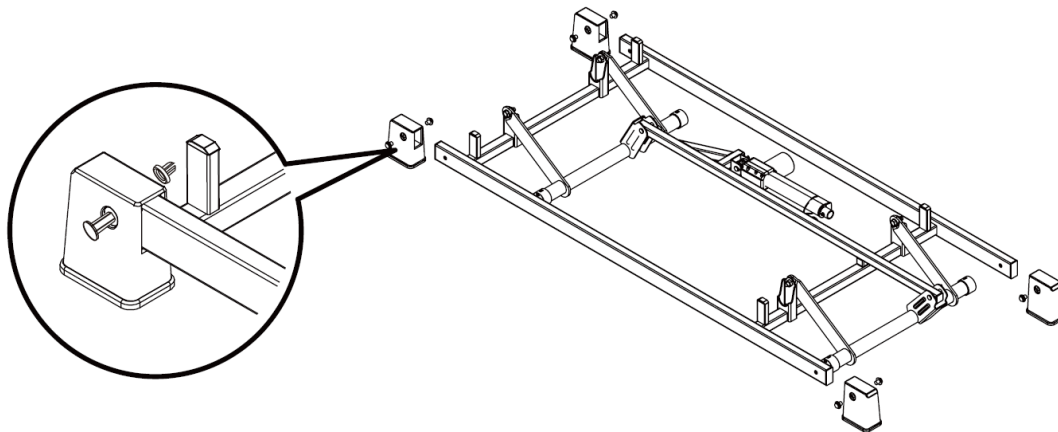
△開梱時の注意点

- 開梱をする際、内部の部品や段ボールの端、開梱で使用する刃物等で怪我しないようご注意ください。

組立方法

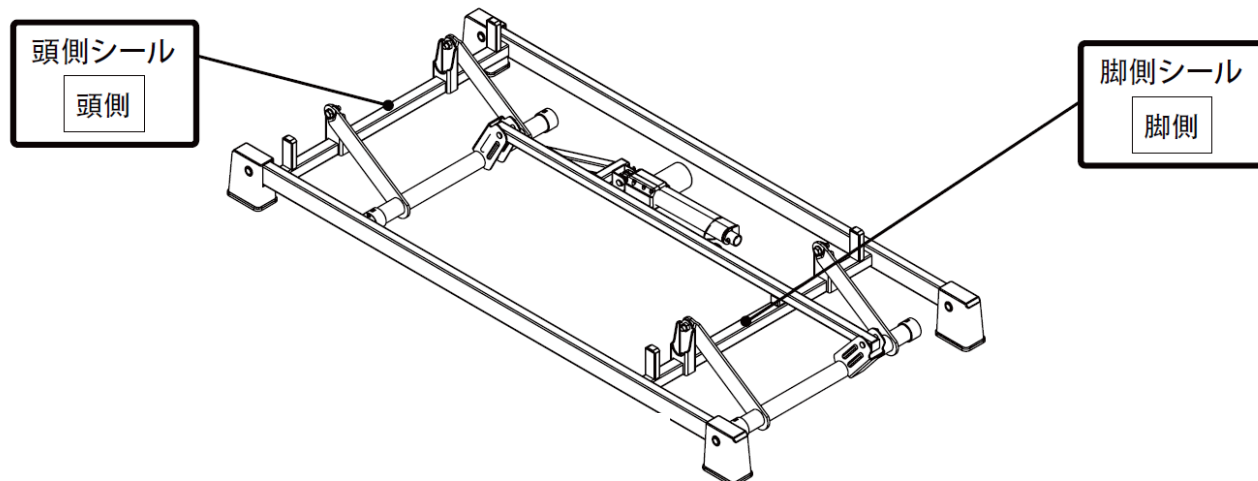
(1)脚座の取り付け

ベースフレームに脚座を差し込み、脚座の両側からプッシュリベットで固定します。

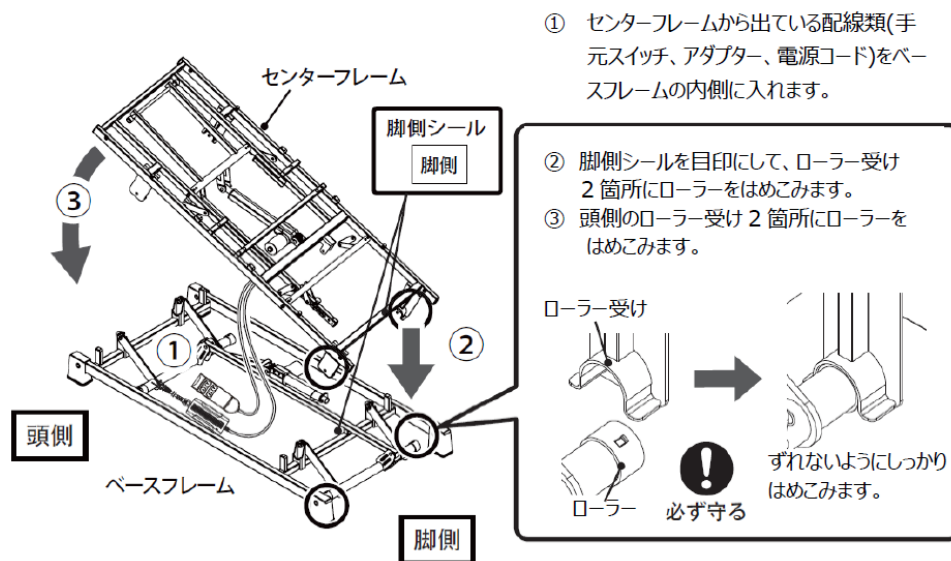


(2)ベースフレームの設置

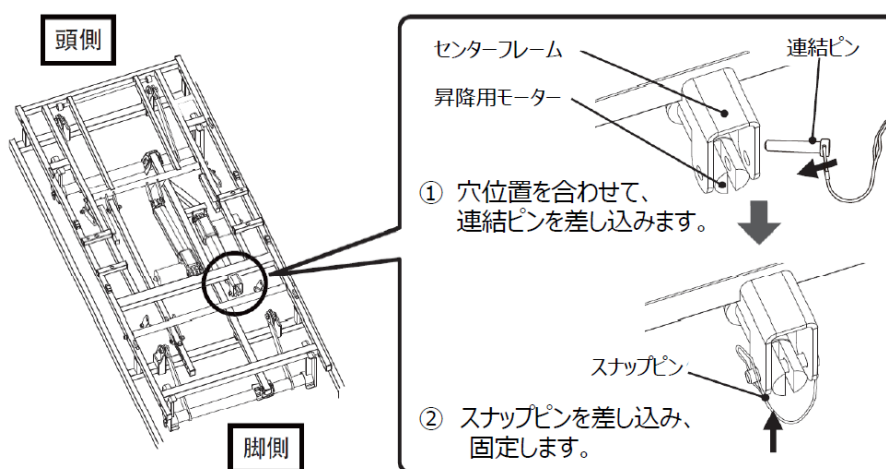
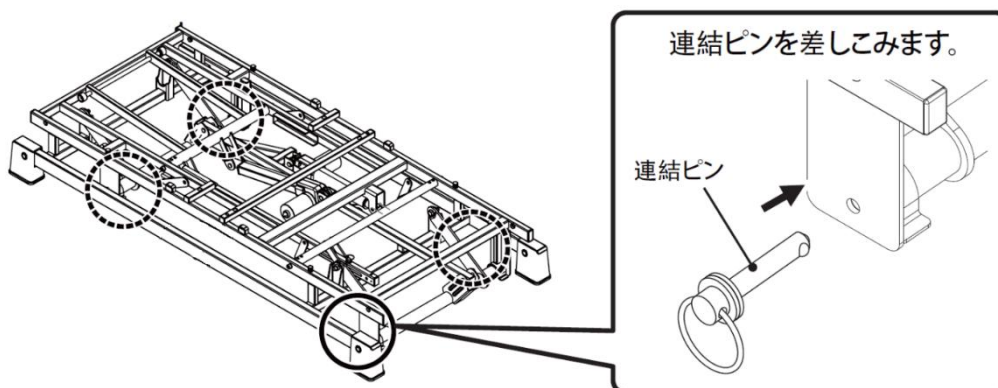
頭側・脚側の向きを確認し、昇降時のヘッド/フットボードの動作による移動空間を、十分確保してください。



(3)センターフレームの組み立て
ベースフレームにセンターフレームをのせます。



連結ピンで4ヶ所固定します。



(4) モーター配線

△配線をおこなう際は以下の内容をお守りください。

誤った配線をおこなうと感電や電気ショート、誤動作や故障、事故の原因となります。

△配線、組み立てが完了するまで電源コードはコンセントに差し込まないでください。

△コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

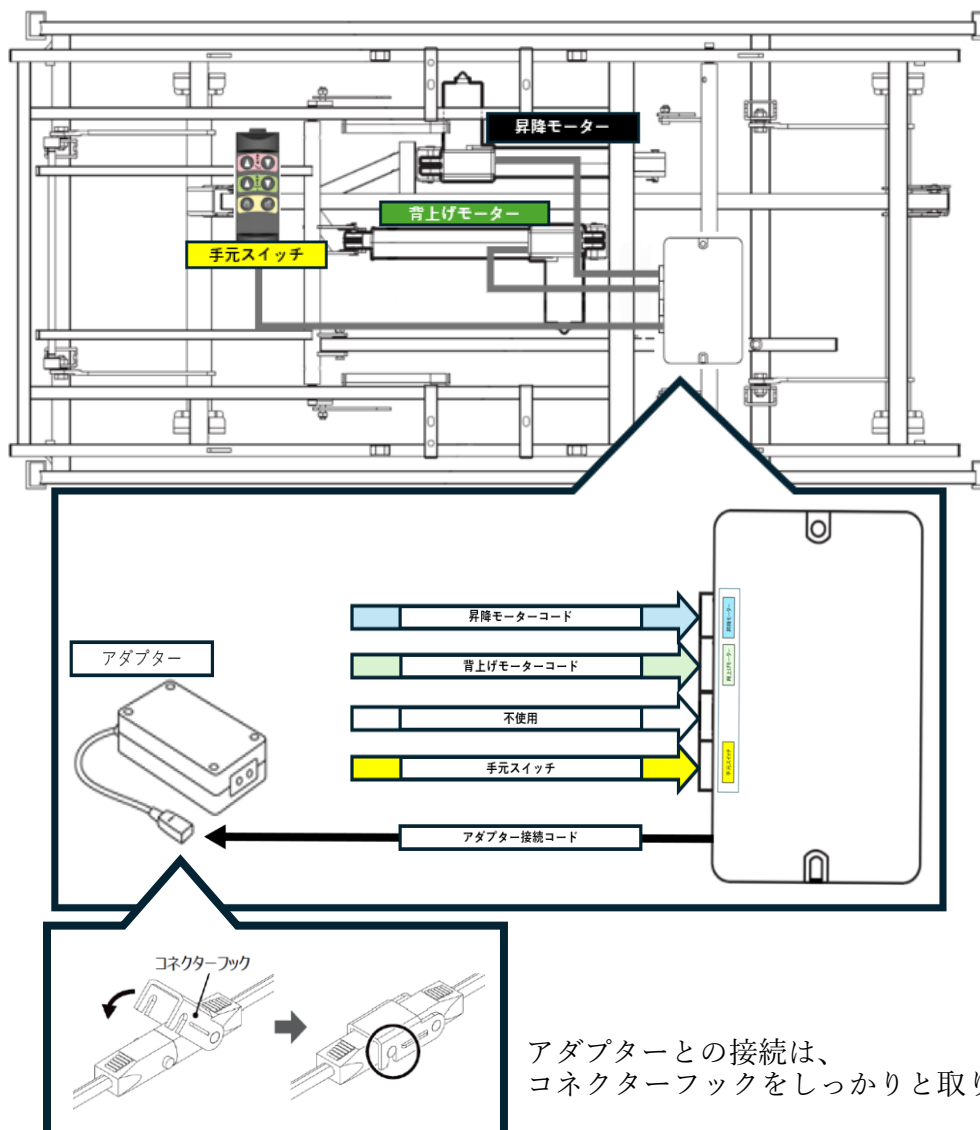
△配線は正確におこなってください。

△コード類を引っ張ったり無理な力を加えないでください。

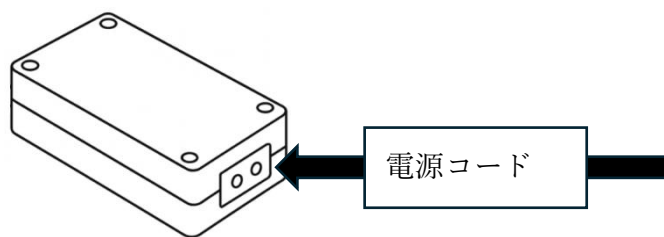
△配線後に動作させる前に、コード類のつっぱりや引っかかりがないか確認してください。

△手元スイッチの押したボタンと動作が同じか確認してください。

① コントロールボックスにコード類を接続します。

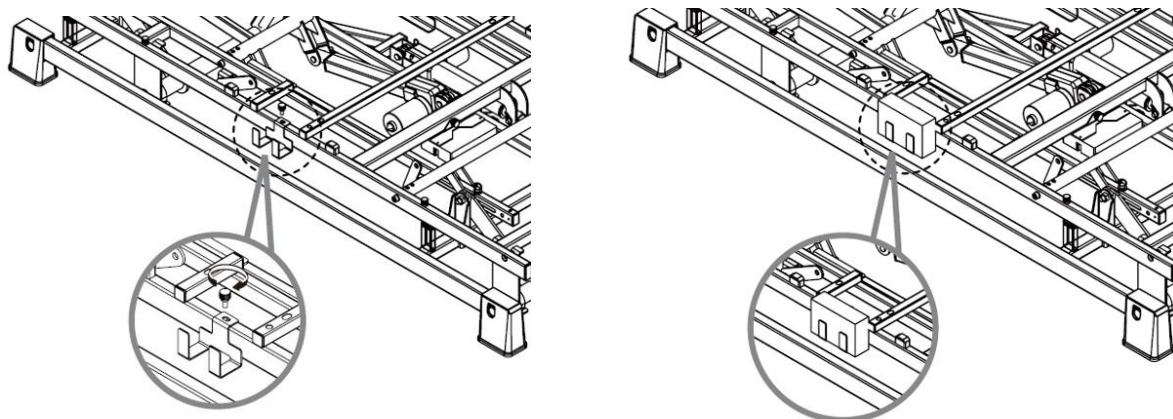


② アダプターと電源コードを接続します。



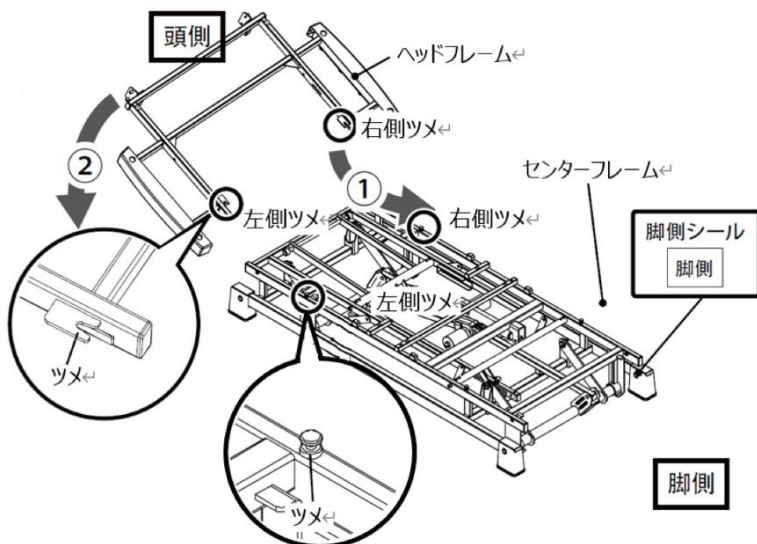
△ベッドの組み立てが完了するまで電源コードはコンセントに差し込まないでください。

③ センターフレームの収納取付穴に収納金具の穴を合わせてノブで固定し、アダプターを収納金具に取り付けます。

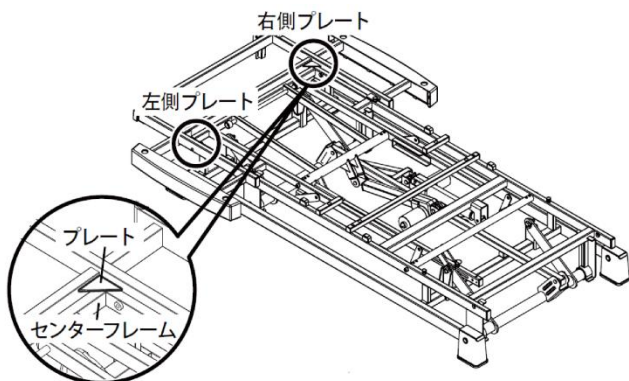


(5)ヘッドフレームの組み立て

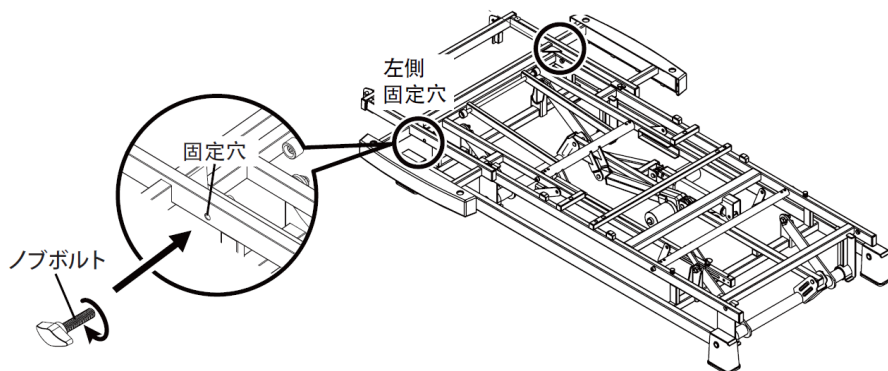
- ① ヘッドフレームの左右のツメを、センターフレームの左右のツメへ引っかけます。



- ② ヘッドフレームの左右のプレートをセンターフレームに乗せます。



- ③ ノブボルトで左右を固定します。

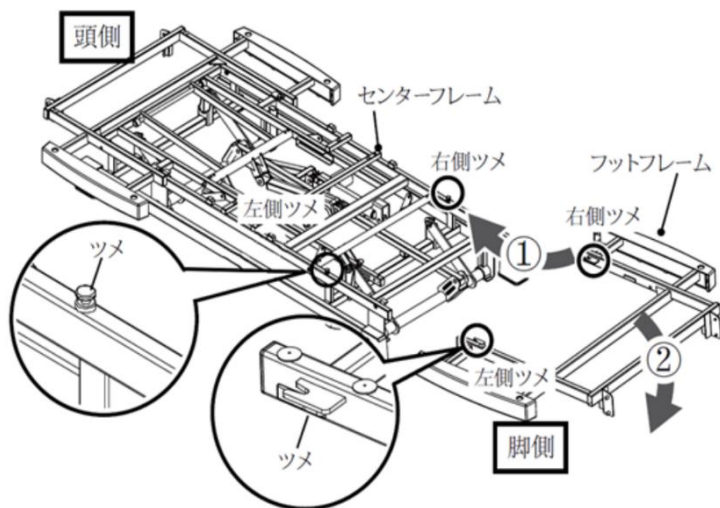


警告

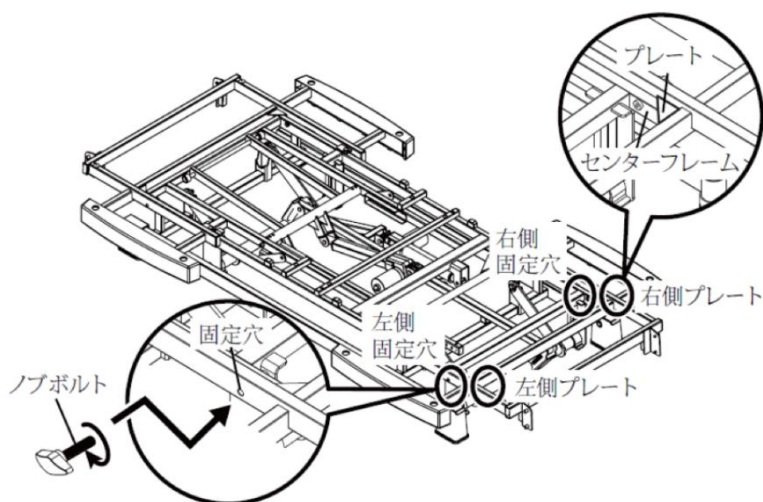
必ずノブボルトで左右をしっかりと固定してください。
しっかり固定されていない場合、
ベッド使用時にはずれ、転倒や
怪我をする恐れがあります。

(6)フットフレームの組み立て

- ① フットフレームの左右のツメを、センターフレームの左右のツメへ、引っかけます。

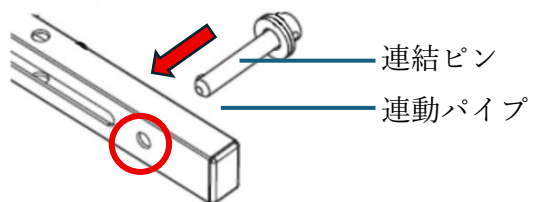
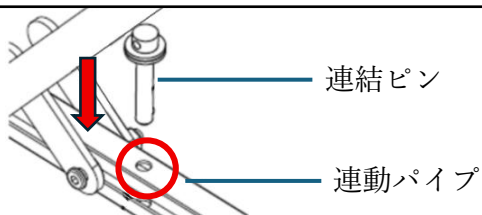


- ②フットフレームの左右のプレートをセンターフレームに乗せます。



【背・脚連動にする場合】
連動パイプの連結ピンを下図の穴に差し込んでください。

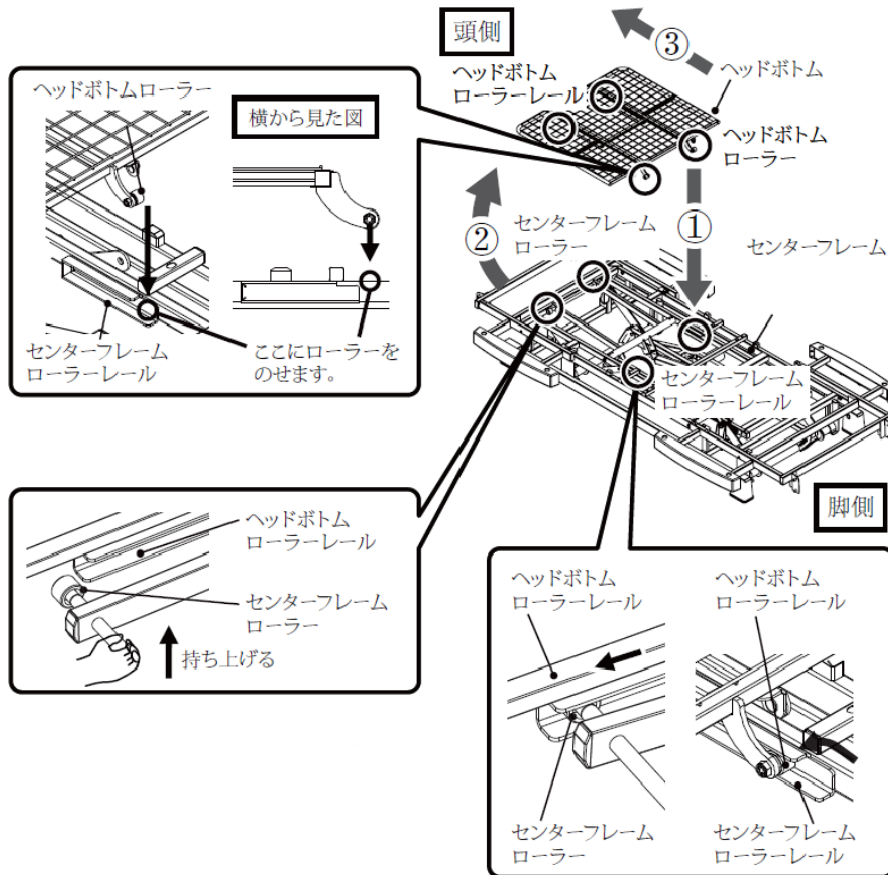
【背・脚連動を解除する場合】
連結ピンを連動パイプ側面の穴に差し込んでください。



(7)ヘッドボトムを組み立て

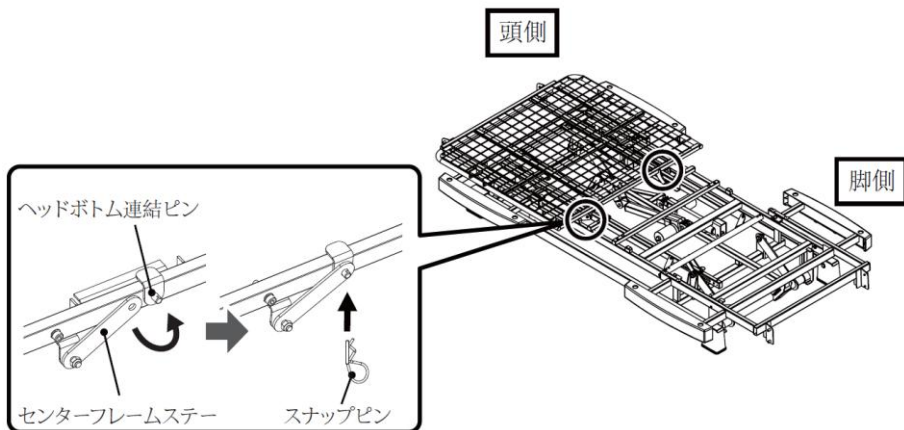
ヘッドボトムをセンターフレームに取り付けます。

- ① センターフレームの下図の箇所(①)にヘッドボトムのローラーを乗せます。
- ② センターフレームのローラーを手で持ち上げます。
- ③ ヘッドボトムを頭側にずらしながらヘッドボトムのローラーレール、センターフレームのローラーレールにヘッドボトムのローラー、センターフレームのローラーを左右同時に入れます。



ステーをヘッドボトムに取り付けます。

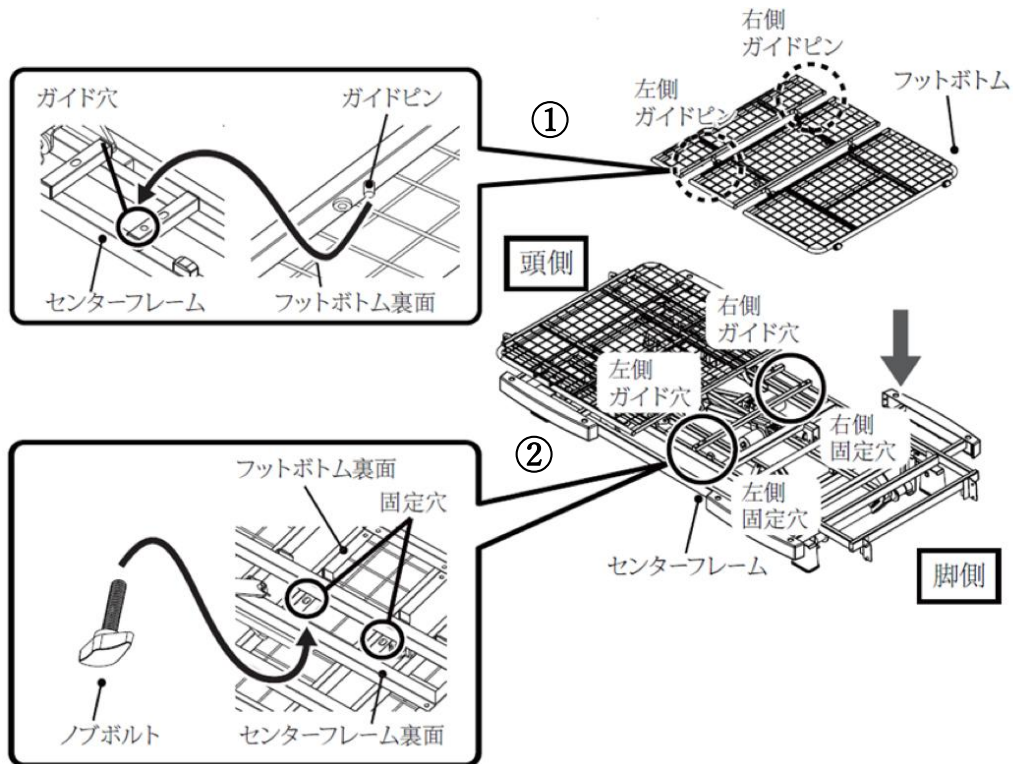
センターフレームの左右のステーをヘッドボトムの連結ピンに取り付け、スナップピンを固定します。



(8)フットボトムの組み立て

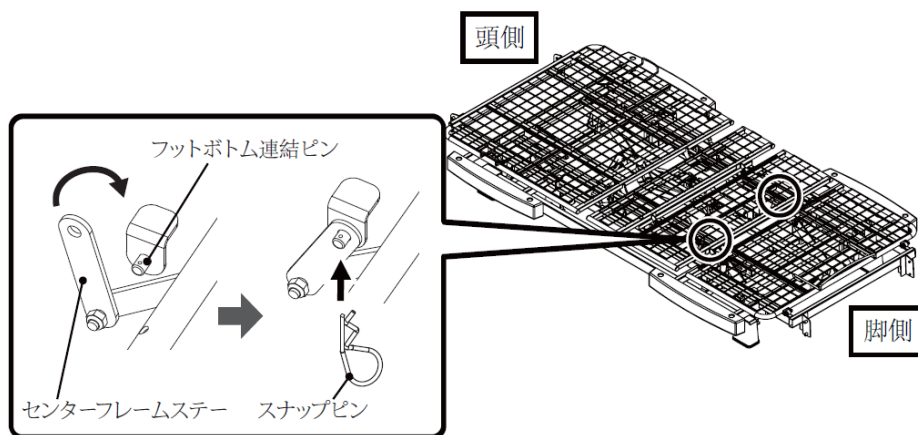
フットボトムとセンターフレームをノブボルトで固定します。

- ①フットボトムの左右のガイドピンをエンターフレームの西遊のガイド穴に差し込みます。
- ②ノブボルトで左右の4箇所を固定します。

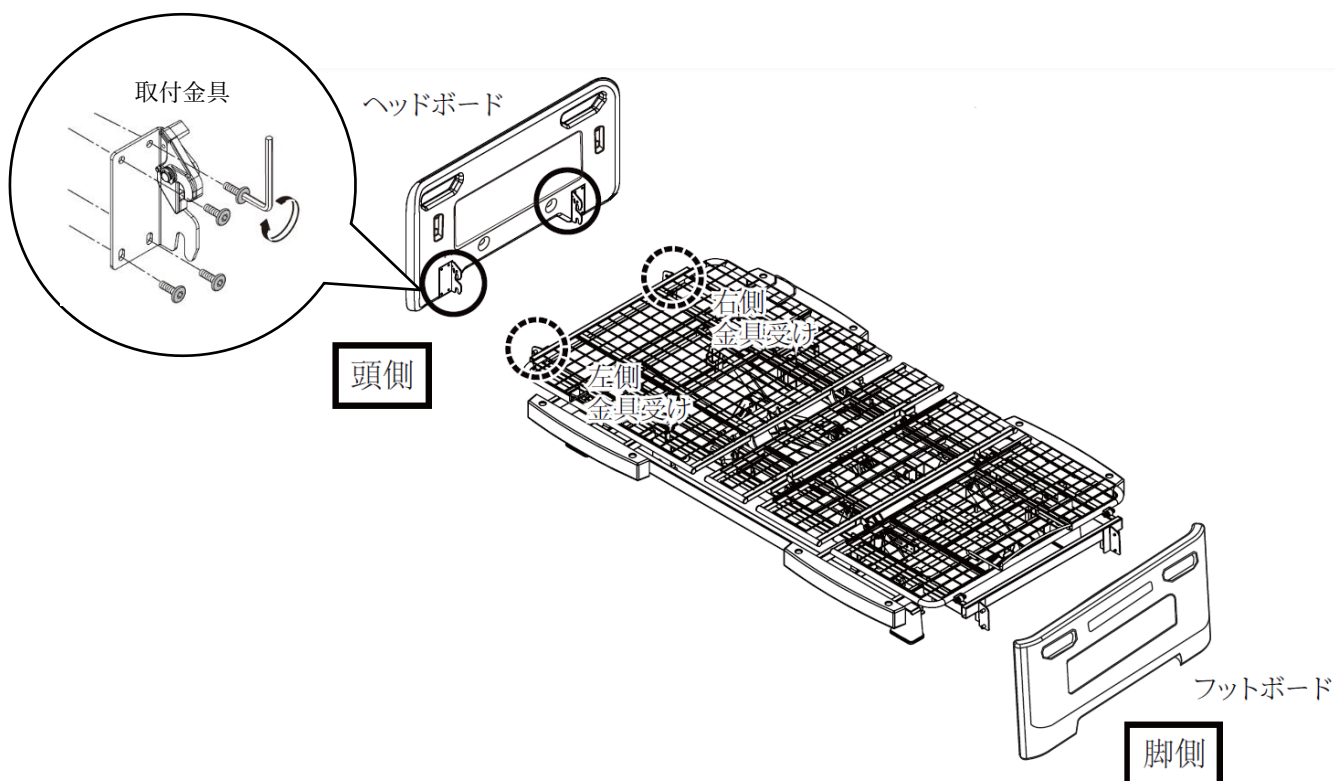




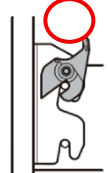
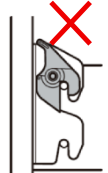
ステーをフットボトムへ取り付けます。

センターフレームの左右のステーをフットボトムの連結ピンに取り付け、スナップピンで固定します。

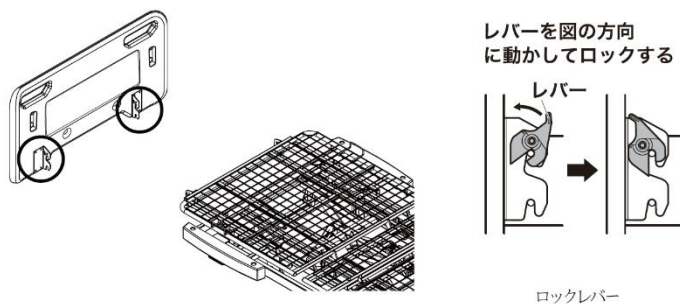


(9)ヘッドボード、フットボードの組み立て
 取付金具をボードにネジで固定し、フレーム左右の金具受けへ取り付けます。



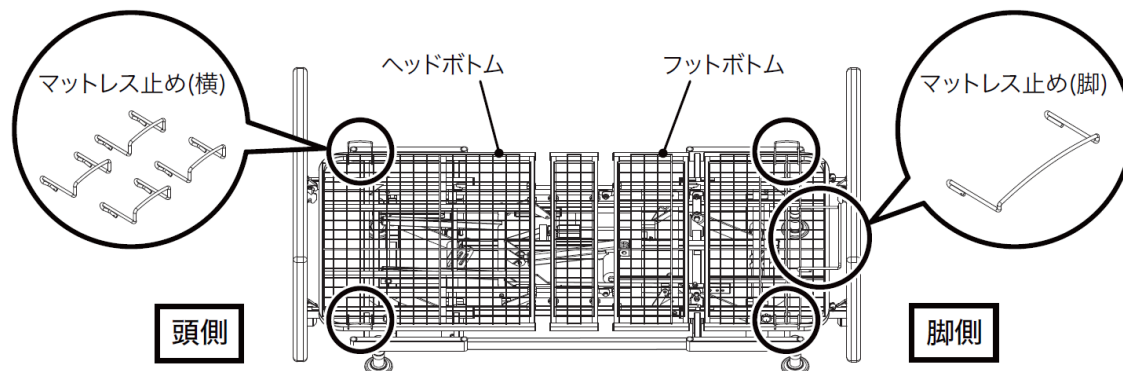
 警告	 必ず守る	<p>●ベッドの使用時は、必ず取付金具のロックバーをオンにしてください。ヘッドボード、フットボードがはずれて、怪我をする恐れがあります。</p>	 オンの状態  オフの状態
---	---	--	---

【ヘッドボード、フットボードの取り外し】
 取付金具のロックレバーをオフの状態にしてヘッドボード、フットボードを持ち上げると外れます。

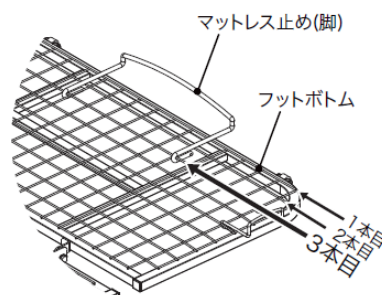


(10) マットレス止めの取り付け

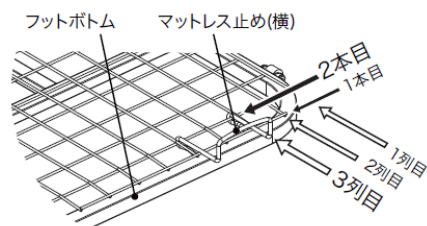
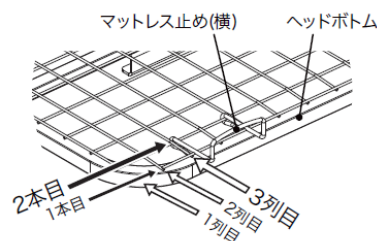
マットレス止め（脚）とマットレス止め（横）を、ヘッドボトム、フットボトムに取り付けます。



- ① マットレス止め（脚）をフットボトムの中央位置になるように端から3本目のメッシュワイヤーに引っかけてください。



- ② マットレス止め（横）を、ヘッドボトム、フットボトムの端から3本目のメッシュワイヤーに引っかけてください。



⚠ 注意

マットレス止めは図の位置以外に取り付けないでください。
上図以外の位置に取り付けると体と接触して怪我をしたり、
マットレスがずれる恐れがあります。

故障について

商品が動かない時は、下記の項目を確認してください。

- 電源プラグは抜けていませんか？
- 延長コードのプラグは抜けていませんか？
- 電源プラグが破損していませんか？
- 手元スイッチ、またはモーターコードが抜けていませんか？
- ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？

保管について

長期間ベッドをご使用にならない場合は下記にご注意ください。

<長期保管する場合>

- ・高温、多湿、低温、乾燥、ほこりの多い場所を避けて保管してください。
- ・取扱説明書は大切に保管してください。

<組み立てた状態でベッドを保管する場合>

- ・背ボトム、ひざボトムを水平にしてください。
- ・ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ・ベッドを壁に立て掛けたり横倒しにせず、床に水平に置いて保管してください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に保管してください。

<ベッドを分解して保管する場合>

- ・ベッドの分解は取扱説明書に従って分解してください。
- ・使用を再開する場合は、取扱説明書に従って正しく組み立ててください。

●誤った組立て・取付けや誤った使用方法、また無理な運転操作を行われた場合の事故や物損等につきまして、弊社は一切の責任を負いかねます。

●製品に何らかの異常が発生した場合には、直ちに弊社にご連絡・ご相談ください。弊社に連絡・相談をなされないまま、使用を継続された場合、弊社は一切の補償を致しかねますので、予めご了承ください。



株式会社ヤマシタ
〒427-0103 静岡県島田市中河 737
電話番号 0547-38-3570